

平成30年度

# 適性検査Ⅰ

9：00～9：45

## 注 意

- 1 問題は①から②まであり、1ページから18ページにわたって印刷してあります。ページの抜け、白紙、印刷の重なりや不鮮明な部分などがなく、かくにんを確認してください。あった場合は手をあげて監督の先生の指示にしたがってください。
- 2 解答用紙は二枚あります。受検番号と氏名をそれぞれの決められた場所に記入してください。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入し、解答用紙を二枚とも提出してください。
- 4 声を出して読むはいけません。
- 5 計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用してください。
- 6 字ははっきりと書き、答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校  
附属中学校

- 1 たろうさんとはなこさんは、調べ学習で日本の工業について調べることにしました。【会話1】を読み、あとの問題に答えなさい。

【会話1】

はなこさん：<sup>わたし</sup>私は日本の工業について調べるために図書室に行きました。そこで、【資料1】と【資料2】をみつけたので、見てください。私は日本の工業は<sup>はってん</sup>発展し続けていると思っていたので、これらの資料を見たときに<sup>おどろ</sup>驚きました。

たろうさん：何に驚いたのですか。

はなこさん：【資料1】を見てください。（あ）ということがわかりますね。次に、私たちの学校の近くにある<sup>けいひん</sup>京浜工業地帯に注目して【資料1】と【資料2】を見てみようと思います。【資料2】を見ると京浜工業地帯で最も<sup>さか</sup>盛んな工業は、機械ですね。

たろうさん：はい。

はなこさん：しかし、京浜工業地帯の機械の製造品出荷額は、中京工業地帯の機械の製造品出荷額の約3分の1しかないのです。

たろうさん：なぜ、約3分の1とわかったのですか。京浜工業地帯の機械の製造品出荷額と中京工業地帯の機械の製造品出荷額は、どこにも書いてありません。どのようにしてそれぞれの工業地帯の機械の製造品出荷額を出して、さらに約3分の1を導き出したのですか。

はなこさん：それは、【資料1】の2014年の製造品出荷額と【資料2】を見て、（い）。

たろうさん：なるほど。そのようにして導き出したのですね。中京工業地帯に比べると京浜工業地帯の機械の製造品出荷額は少なく感じますね。それでは、京浜工業地帯では、食料品や<sup>せんい</sup>繊維などの軽工業はどうでしょうか。

はなこさん：【資料2】から、京浜工業地帯の中で軽工業は全体の24.4%を<sup>し</sup>占めていることがわかります。また、【資料1】と【資料2】から、京浜工業地帯の軽工業の製造品出荷額は、【資料1】にある工業地帯や<sup>こうぎょうちいき</sup>工業地域の中で（う）番目に多いことがわかります。

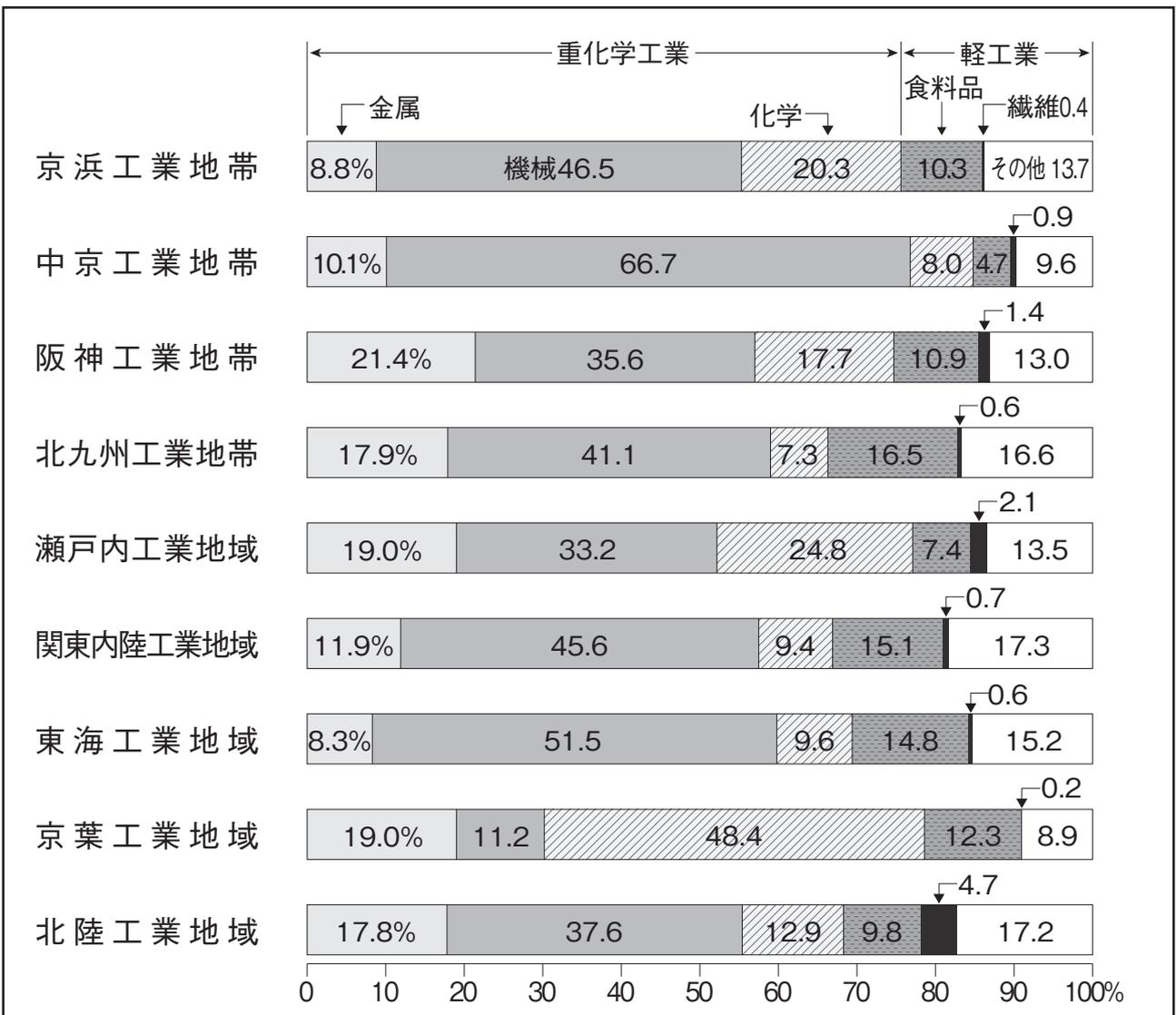
たろうさん：資料を正確に読みとると、いろいろなことに気づきますね。

【資料1】工業地帯、工業地域の製造品出荷額の移り変わり（単位 億円）

	1990年	2000年	2010年	2013年	2014年
京浜工業地帯	516000	403000	258000	254000	262000
中京工業地帯	445000	427000	481000	526000	546000
阪神工業地帯	406000	326000	301000	303000	317000
北九州工業地帯	78000	74000	82000	82000	85000
瀬戸内工業地域	267000	242000	293000	295000	310000
関東内陸工業地域	336000	305000	290000	279000	293000
東海工業地域	165000	168000	159000	158000	161000
京葉工業地域	123000	115000	124000	131000	139000
北陸工業地域	132000	128000	118000	121000	128000

（「日本国勢図絵 第75版」をもとに作成）

【資料2】工業地帯、工業地域の製造品出荷額の内訳（2014年）



（「日本国勢図絵 第75版」をもとに作成）

問題 1 【会話 1】の内容や【資料 1】【資料 2】を参考にして、次の(1)～(3)の問題に答えなさい。

(1) 【会話 1】中の(あ)にあてはまるものとして、最も適切なものを、次の1～4から一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 2014年において関東地方にある工業地帯や工業地域こうぎょう ちいきの中で製造品出荷額が最も多いのは、京浜工業地帯けいひんである
- 2 1990年から2014年まで、製造品出荷額が増加し続けている工業地帯や工業地域は、一つもない
- 3 全ての工業地帯と工業地域の製造品出荷額を年ごとに合計すると、1990年から2014年まで、その合計額は減少し続けている
- 4 1990年と2014年を比べると、製造品出荷額が増加している工業地帯や工業地域は三つだけで、それ以外は減少している

(2) 【会話 1】中の(い)にあてはまることばを次の[条件]にしたがって書きなさい。

[条件]

- 直前のたろうさんの質問に答えるように計算のしかたを具体的に説明すること。
- 前後の会話につながるように書くこと。

(3) 【会話 1】中の(う)にあてはまる数字を答えなさい。

このページには問題は印刷されていません。

- 2 たろうさんとはなさんは、総合的な学習の時間で「日本の伝統的な建築物」をテーマにした調べ学習をすることにしました。そのなかで実際に宮大工みやだいくの小野おのさんにインタビューすることができました。【会話1】を読み、あとの問題に答えなさい。

### 【会話1】

インタビューの中で、宮大工が使う道具についての説明を聞くことになりました。

小野さん : 宮大工はいろいろな道具を使って寺や神社などの建築や補修ほしゅうをしています。今日はその中でもサシガネについて説明したいと思います。サシガネは、物の長さなどを測る道具で、【図1】を見てわかるように、ものさしを90度に曲げたような形をしています。

はなこさん : 形が変わっていますが、普通ふつうのものさしと何が違うちがのですか。

小野さん : サシガネは【図2】のように長い部分の表と裏うらに、それぞれ長さの違う目盛りめもりが刻んであります。【図2】の右側に見えるのが「表目めも」で、1寸、2寸と目盛りめもりが刻んであります。1寸の長さは約3cmです。裏にも1寸、2寸と目盛りめもりが刻んでありますが、これは実際の1寸、2寸の長さとは違います。この目盛りを「裏目うらめ」と言います。【図2】では左側の目盛りです。「裏目うらめ」の1寸は、【図3】のように一辺が「表目めも」の1寸である正方形の対角線の長さになっています。

たろうさん : 「表目めも」と「裏目うらめ」はどのようなときに使うのですか。

小野さん : 例えば、丸太から角材を切り出すとき、その角材の切り口の長さを測るのに使います。それでは実際に使ってみましょう。

【図4】のように、直径が「表目めも」で測ると3寸ある円の中でできるだけ大きな正方形を描くとき、その一辺の長さは、約何寸になるとお思いますか。サシガネを使って調べてみてください。

はなこさん : わかりました。一辺の長さは約（ あ ）寸です。

小野さん : そのとおりですね。それでは次に、ある正方形の対角線の長さを知りたいとき、サシガネの「表目」と「裏目」を利用すれば対角線を直接測らなくても知ることができます。では、サシガネをどのように使えばよいでしょうか。

たろうさん : はい。( い )。その数値が対角線の長さになります。

小野さん : そのとおりです。二人ともよく理解できましたね。

まつうらしょうじ  
(松浦昭次「宮大工千年の『手と技』」をもとに作成)



問題1 【会話1】の内容や【図1】～【図4】を参考にして、次の(1)(2)の問題に答えなさい。

(1) 【会話1】の(あ)に当てはまる<sup>すうち</sup>数値を小数第一位までの数字で答えなさい。

(2) 【会話1】の(い)に当てはまる最も適切なものを、次の1～4から一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 まず、正方形の一辺の長さを「表目」で測ります。次にサシガネをひっくり返して、「表目」で測った数値と同じ数値の「裏目」に当たるところを指で押さえます。もう一度サシガネをひっくり返して、指で押さえているところの「表目」の数値を読みます
- 2 まず、正方形の一辺の長さを「表目」で測り、その位置を指で押さえます。そのままサシガネをひっくり返して、指で押さえているところの「裏目」の数値を読みます
- 3 まず、正方形の一辺の長さを「裏目」で測ります。次にサシガネをひっくり返して、「裏目」で測った数値と同じ数値の「表目」に当たるところを指で押さえます。もう一度サシガネをひっくり返して、指で押さえているところの「裏目」の数値を読みます
- 4 まず、正方形の一辺の長さを「裏目」で測り、その位置を指で押さえます。そのままサシガネをひっくり返して、指で押さえているところの「表目」の数値を読みます

問題2 たろうさんは、「日本の伝統的な建築物」に関して、<sup>くわ</sup>詳しく調べてみようと思いましたが。そして、【資料1】を見つけました。【資料1】を読み、あとの(1)(2)の問題に答えなさい。

【資料1】「日本の伝統的な木造建築物」に関して書かれた文章

省  
略

# 省 略

省  
略

# 省略

[注]

- ※ 1 く でん 口伝 . . . . . 大事な事がらを師から弟子へ口頭で教えて伝えること。
- ※ 2 どうとう 堂塔 . . . . . 寺のお堂と塔。
- ※ 3 材 . . . . . 材料。
- ※ 4 すんぼう 寸法 . . . . . 物の長さ。
- ※ 5 いじ 維持 . . . . . もちつづけること。
- ※ 6 どうりょう 棟梁 . . . . . 大工の親方。
- ※ 7 ふ つち 葺き土 . . . . . かわら し 瓦の下に敷く土のこと。
- ※ 8 の じ いた 野地板 . . . . . たる き はり 垂木や梁の上に敷く板。この板の上に土を敷き瓦をのせる。
- ※ 9 垂木 . . . . . 建物の屋根のうら板をささえる木。
- ※ 10 梁 . . . . . 屋根の重みを支えるために、柱の上に横にわたす材木。
- ※ 11 いまし 戒める . . . . . 言い聞かせる。注意する。
- ※ 12 こうじん 工人 . . . . . 職人のこと。
- ※ 13 くさび . . . . . 木を組み合わせたところに打ちこんで、かたくとめたりするのに使うもの。
- ※ 14 いくえにも . . . . . 数多く。
- ※ 15 て まちん 手間賃 . . . . . 仕事にたいしてはらうお金。
- ※ 16 き かく ひん 規格品 . . . . . ものの大きさ、形、品質などについて定められた標準の品物。
- ※ 17 原価 . . . . . かかった費用。

- (1) たろうさんは、【資料1】で述べられている、<sup>ほうりゅうじ</sup>法隆寺などの日本の伝統的な木造建築物にみられる建て方の工夫の中で、「木の<sup>くせぐ</sup>癖組み」と「解体と修理」について興味深いと感じました。そして、その工夫をクラスの人たちに紹介したいと思い、文章を書くことにしました。あなたならどのように書きますか。あとの[条件]と<sup>ちゅういじこ</sup>[注意事項]にしたがって書きなさい。

[条件]

- 「木の癖組み」と「解体と修理」についての工夫を述べること。
- 複数の<sup>だんらく</sup>段落はつくらずに、一段落で書くこと。
- 次の【書き出しの文章】に続くようにして200字～255字で書くこと。ただし、【書き出しの文章】は字数に<sup>ふく</sup>含まないこと。

**【書き出しの文章】**

<sup>わたし</sup>私は「日本の伝統的な建築物」をテーマとして調べ学習を行っていくなかで、法隆寺などの日本の伝統的な木造建築物にみられる建て方の工夫について書かれた文章に出会いました。その工夫を紹介します。

[注意事項]

- 解答は横書きで書くこと。
- 題名は書かずに、一マス空けて書き始めること。
- <sup>げんこうようし</sup>原稿用紙の適切な書き方にしたがって書くこと。(ただし、解答用紙は、一行二十マスではありません。)
- 文字やかなづかいなどに気をつけて、漢字を適切に使い、<sup>ていねい</sup>丁寧に書くこと。

(2) たろうさんは、【資料1】を読んで自分が考えたことをクラスの人に伝えたいと思いました。あなたならどのように書きますか。あとの[条件]と[注意事項]にしたがって書きなさい。

[条件]

- 【資料1】を読んで考えたことを、自分の生活やこれまでの学習と結びつけて、具体的に書くこと。
- 複数の段落だんらくをつくって、文章全体を構成し、250字～300字で書くこと。

[注意事項]

- 解答は横書きで書くこと。
- 題名は書かずに、一マス空けて書き始めること。
- 原稿用紙げんこうようしの適切な書き方にしたがって書くこと。(ただし、解答用紙は、一行二十マスではありません。)
- 文字やかなづかいなどに気をつけて、漢字を適切に使い、丁寧ていねいに書くこと。
- 段落をかえたときの残りのマスは、字数として数えます。
- 最後の段落の残りのマスは、字数として数えません。

このページには問題は印刷されていません。

このページには問題は印刷されていません。

このページには問題は印刷されていません。